

親や家庭の在り方 子育て支援考える

山梨JCが講演会

親の役割や家庭のあるべき姿を考える「親学」をテーマにした講演会がこのほど、山梨市民会館で開かれた。

明星大教授の高橋史朗さんが講演し、写真、「子どもの心を育てるためには、親自身が成長することが必要」と指摘。これまでの子育て対策は保育サービスの拡充や経済的支援がメインになっていたが、今後は親の人的成長を促すような支援が必要と訴えた。

また、子育てに伴う困難や問題は「親と子が共に育つために与えられたもの」（高橋さん）と、プラスにとらえる



ことが重要だと話した。山梨青年会議所（JC）が主催。子育て中の市民ら約40人が参加した。

「フルーツ大使」に 山学大47人を委嘱

八代都市農村交流推進協
笛吹市八代地区の農家らでつくる「八代地区都市農村交流推進協議会」（風間博文会長）はこのほど、山梨学院大健康栄養学部の1年生47人に同地区の「フルーツ大使」を委嘱した。写真。
同協議会では昨年から同学

温泉熱の活用法

武藤教授が提言

笛吹で協議会会合

温泉の熱エネルギー活用を目指す石和温泉再生可能エネルギー協議会（山下安広会長）はこのほど、笛吹市役所で会合を開いた。

会員ら約20人が出席。講師に招いた慶応大環境情報学部の武藤佳恭教授が、石和温泉